立春を迎えた自然教室の様子！

三浦だより

第204号

自然教室の様子

（123）

発行者
清泉小学校
自然教室

ヒメウズ

シロバナヒメオドリコソウ

クコの実

ヒイラギナンテン

例年だとまだまだ寒い日が続いている頃ですが、今年はひょうたん池も凍ることなく立春を迎え、まさに春のような景色が広がっています。186号では、すでに12月に春の花であるヒメオドリコソウが咲いていることを記事にしましたが、畑ではホトケノザとともに紫色の世界を広げています。そんな中、毎年畑のカイヅカイブキの下に1か所だけシロバナヒメオドリコソウが現れます。夏の間はクズの葉に覆われていた沼のフェンス際のヒイラギナンテンも本来春先に咲く黄色い花を咲かせています。ひょうたん池のほとりには白くて小さいヒメウズの花が咲いていました。この花も本来は、4～5月に咲く花です。131号で畑の藪に咲くクコの花を紹介しましたが、漢方薬としても使われる赤い実はあまり見ることがありませんでした。ところが、田んぼの水源近くにたくさん生っているのを見つけました。畑やいずみ広場の奥に群がって藪を作っているのはヤエムグラです。

ヤエムグラ